

INTERFACE

仙台市立仙台青陵中等教育学校
第4学年 学年通信
インターフェイス
第28号 令和6年12月6日

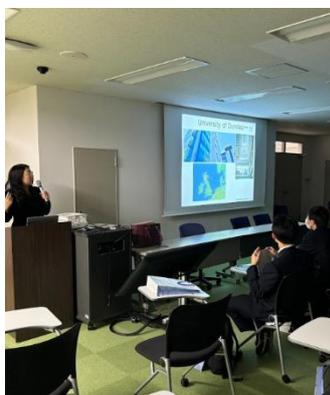
「首都圏研修旅行報告①」

11月28日(木)、29日(金)1泊2日で首都圏研修を実施しました。できるだけ充実した研修になるよう教員、実行委員の生徒を中心に企画を練ってきました。また、大学の先生や学生の方々にもご多忙のところ貴重なお時間を割いていただき、研究室訪問や模擬授業、キャンパスツアーをしていただきまして感謝申し上げます。12月3日(火)に解団式および研修の振り返りを行いました。それぞれの生徒が研修で得た学びをまとめましたので、一部紹介しながら、研修を振り返りたいと思います。

(I) コース別研修「東京科学大学すずかけ台キャンパス」

東京科学大学では、田中幹子教授、小倉俊一郎准教授、松田知子准教授の3名の研究室を訪問させていただき、教授や学生から研究室の紹介や研究についてご説明していただきました。また、田中幹子教授からは模擬授業をしていただき、ご自身のこれまでの研究の歩みや発生生物学、東京科学大学の特徴などについてご説明していただきました。小倉俊一郎准教授の研究室では、ALAを用いたがん治療の理論をご紹介していただき、がんを顕微鏡で直接見る貴重な経験をさせていただきました。松田准教授の研究室では、大学院生に研究室を紹介していただきながら、実際に実験、研究している様子を間近で見せていただきました。

田中幹子教授
模擬授業の様子



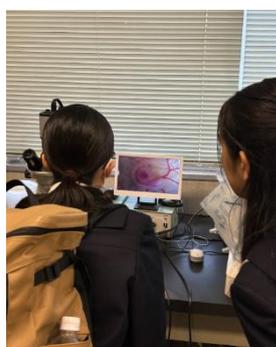
松田知子准教授の研究室
訪問の様子



小倉俊一郎准教授にがん
を見せていただきました



田中幹子教授から有精卵を使い、発生の
過程を説明していただきました



すずかけ台キャンパス
J棟20階からの絶景
富士山も見えました

「東京科学大学すすかけ台キャンパス」参加生徒からの感想

- 「生物」と聞くと細胞や動植物のイメージが強かったのですが、情報と関わっていたり、工学と関わっていたりして、1つの学問だけでも多くの分野と関連していることを改めて感じました。自分がこれまでに研究で使ったことのある器具や学んだことのある話題もあり、中高で学んだことがつながっていると感じました。特に酵素の研究は理科講座や生物基礎の授業で習った内容が組み合わせであり、とても面白かったです。
- 私が興味を持っている生物に関する講義を受けることができた。生命現象を捉える方法として、生命を創る、生命に学ぶ、生命を利用する、など様々な面が挙げられることがわかった。担当して下さった田中教授は主に進化発生学を研究されていたが、特に指間細胞死のお話や顕微鏡で受精した鶏卵を観察したことが興味深かった。
- コース別研修で私は東京科学大学に伺いました。3人の先生の研究室の訪問を行わせていただいたのですが、どの研究室の実験のテーマも興味深かったです。また、研究論文に関する質問を行ったのですが、「予想を信じて実験を進めてください」というアドバイスをいただきました。このアドバイスをもとに研究論文を進めていきたいと思います。
- 田中幹子教授から生物学についての講話をしていただいた。難しい内容だったが、私たちが今勉強している生物基礎の内容と結び付けて考えるととても興味深かった。また、3人の先生方の研究室を訪問して、ひよこやがん細胞、薬の研究など自分が興味のある分野の実験を見ることができて面白かった。
- 東京科学大学では、実際に3人の教授の研究室を見ることができました。研究室には今まで見たこと、聞いたことのないような機械や器具が多くありました。机においてあるメモや化学薬品のようなおいがとても研究室らしくて、興味がわきました。様々な国からの留学生もいて、大学では英語が必須なのだと思います。
- スーパーコンピューターを駆使して様々なシミュレーション、計算をして研究を進めているそうで大学内に英語の論文やグラフ、映像でヒシの進化を見せていただけたのが印象的だった。研究室では留学生の方とコミュニケーションをとっている様子が見られ、グローバルな大学で、各々が好きなことを好きなだけ突き詰めていると感じた。



研究室の設備や研究について説明していただきました



ALAに関する研究をご説明していただきました